

御祝の辞

6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

これまで深い愛情をもって子ども達を育て上げられ、また、お見守りいただいた保護者の皆様、教職員の皆様には心からお慶びを申し上げます。

皆さんが生まれた2010年から2011年を振り返ってみると、この年は、かつてない円高となり、海外の製品やサービスを安く買うことができました、現在では、円安により海外の製品やサービスが高くなってしまいう現象が起きるなど、まったく反対の出来事が起こっています。

学校教育も、タブレットPCや、電子黒板を使用した学習が行われるようになり、また、世界に目を向けてみると新型コロナウイルス感染症、ロシアによるウクライナ侵攻など想像もしなかったことが起こり、私たちの生活も、学校生活も当たり前だったことが当たり前でなくなり、大きく変化してしまいました。

人生には3つの坂があるといわれています。

一つ目は「上り坂」

どんな人生にも心躍るような楽しい嬉しいことがあります。幸せに歩む道が上り坂です。

二つ目は「下り坂」

人生何をやっても上手いかない時期も当然あります。

人生の中では必ず直面して歩かないといけない時期があります。

そして、3つ目は「まさか」です。

上り坂や、下り坂は、ある程度予測できますが、思いもよらなかった事が起こることを言います。

「まさか」が起こったとき、どのような行動を取ればよいのか、その行動によって、人生が大きく変わることがあります。「まさか」の道を歩むことは簡単ではありません。涙が止まらない時もあり、とてもつらいでしょう。この三つ目の坂が「自分自身が最も試されるときであり、真価を問われる場面」と言えます。

中学校では、生涯にわたり自ら学ぶ力、自分の意志判断によって行動する力を身に付ける授業が行われることと思います。

これからは、AIの飛躍的な発達、気候変動や新たなウイルスの出現など、予測が困難な、いつ「まさか」が起こっても仕方がない時代が来ることと思います。中学校、高校、大学等、学校での学びを通じて、コミュニケーション能力など、未来を生き抜く力を身に付けてください。

地域、学校もあなた方を応援しています。

保護者の皆様、日頃よりPTA活動にご理解と、ご協力を頂き、心よりお礼を申し上げます。

中黒瀬小学校には、心に残る伝統行事があります。今後、中黒瀬小学校はコミュニケーション（学校運営協議会制度）が開始され、より一層、学校と地域、保護者が、連携・協同した学校運営を行っていきます。子ども達が卒業した後、お力添えいただければと思います。

本日は誠におめでとうございます。

簡単ではございますが、お祝いの辞とさせていただきます。

令和五年三月十八日

東広島市立中黒瀬小学校PTA会長 鐵本 雅利